

仮設業界の“トップランナー”を目指すタカミヤが、
「秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会」に協賛決定
～プラットフォーム事業で、顧客と仮設現場の「中継所」を目指す～

足場をはじめとする仮設機材の総合プラットフォームとして、建設業界を支えるソリューションを提供するタカミヤ（以下タカミヤ、本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、2023年11月5日（日）に開催予定の「秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会」に協賛いたします。



全日本大学駅伝は、愛知県名古屋市の「熱田神宮」をスタート、三重県伊勢市の「伊勢神宮」をゴールとする8区間106.8kmで競う、“大学駅伝日本一”を決める大会です。“学生3大駅伝”のひとつである本大会は、全国8地区の代表17校、前年大会上位のシード校8校、日本学連選抜チーム・東海学連選抜チームの合計27チームが参加します。当社は、若者のスポーツ振興に貢献すべく、本大会に協賛しました。大会開催に向けて、大会公式ホームページ・大会ポスター・朝日新聞紙面等での露出のほか、大会当日のテレビ中継番組内でタカミヤの企業CMの放映を行います。

■協賛にかける想い

タカミヤは、2023年5月31日に新ビジネスモデル『タカミヤプラットフォーム』を発表し、仮設現場と顧客をつなぐ“架け橋”の役割を本格的に担い始めました。

駅伝では区間ごとの繋ぎとなるタスキを渡す場所を「中継所」と呼びますが、タカミヤも正に、仮設業界の中継所と呼ぶにふさわしい存在になるべく、仮設現場とお客様、そしてお客様同士を繋ぐ事業を始動いたしました。選手が次の走者へタスキを託すように、タカミヤは「次世代足場」を業界に広く届け、仮設業界のよりよい未来を目指して行きます。



第54回大会の様子（提供 朝日新聞社）

【本件に関するお問い合わせ先】

タカミヤPR 事務局(株)アンティル内) 担当：阿部・木村・水原・藤井
T 06.6225.7781 F 06.6225.7782 takamiya_pr@vectorinc.co.jp

■秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会 概要

開催日時：2023年11月5日（日）午前8時10分スタート（予定）

コース：愛知県・熱田神宮西門前～三重県・伊勢神宮内宮宇治橋前 8区間 計106.8km

出場枠：全国8地区の地区選考会を勝ち抜いた17校、前年大会上位のシード校8校、オープン参加2チーム 計27チーム（予定）

主催：公益社団法人日本学生陸上競技連合、朝日新聞社、テレビ朝日、メ〜テレ

後援：スポーツ庁、愛知県、三重県、名古屋市、伊勢市、日刊スポーツ新聞社など（予定）

運営協力：東海学生陸上競技連盟、一般財団法人愛知陸上競技協会、一般財団法人三重陸上競技協会

特別協賛：長谷工グループ

協賛：タカミヤ

■会社情報

社名：株式会社タカミヤ

代表：高宮 一雅

本社所在地：大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB27階

URL：www.takamiya.co

設立 1969年6月21日 / 資本金10億 5,214万円 / 従業員数 736名（連結従業員数 1,266 名）

事業内容 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

【本件に関するお問い合わせ先】

タカミヤPR 事務局((株)アンティル内) 担当：阿部・木村・水原・藤井

T 06.6225.7781 F 06.6225.7782 takamiya_pr@vectorinc.co.jp